

協働事例集

市民協働の手引き

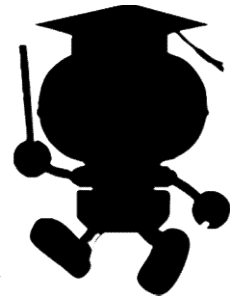
KYOU DOU

きよ うりよくして

う ごきだそう

ど んなことでも解決できる

う んとよくなる豊橋のまち



目 次

第1章 市民協働を知ろう

| | |
|---------------|-------|
| 市民が主役のまちづくり | ・・・ 1 |
| 協働のかたち | ・・・ 2 |
| 協働のメリット・デメリット | ・・・ 3 |
| とよはしの協働 | ・・・ 4 |


第2章 市民協働で取り組もう

| | |
|-----------|-------|
| 協働をはじめる前に | ・・・ 5 |
| 協働のはじめ方 | ・・・ 6 |
| 協働のすすめ方 | ・・・ 7 |
| 協働に役立つ窓口 | ・・・ 8 |

第3章 市民協働をふりかえる

| | |
|----------------|--------|
| ふりかえりの着眼点 | ・・・ 9 |
| 協働ふりかえりシートの使い方 | ・・・ 10 |
| 協働ふりかえりシート | ・・・ 11 |

第4章 市民協働で取り組もう

| | |
|---|--------|
|  つながる✦協働事例 | ・・・ 12 |
|---|--------|

市民協働に役立つ情報

| | |
|-------------------|--------|
| 市民協働推進補助金 | ・・・ 19 |
| 市民協働推進基金（トヨッキー基金） | ・・・ 19 |



**市民が主役の
まちづくり**

まず最初に…**市民協働**ってなんだろう？



みなさんは、自分ひとり、自分たちのグループだけではできないことでも他の仲間やグループと協力して成功したことや、困っていたことが解決できたことがありますか？同じ目的に向かって一緒に活動することでよりよい成果が生まれることがたくさんあります。

それでは、「協働する」、「市民協働」ってどういうことでしょうか？

豊橋市では「市民協働」を、市民及び市が互いの特性を認識し、協力し合い、より良いまちづくりを目指して、多種多様な取組を行うこととしています。

「豊橋市市民協働推進計画」より

少子高齢化やライフスタイルの変化に合わせ、市民の価値観やニーズは多様化しています。そのため、これまでのような行政だけによる一律なサービス提供では対応することに限界が出てきました。

一方で、自発性・自主性に基づくNPOや地域コミュニティなどの市民活動は、必要なところ、身近なところ、できるところから柔軟に取り組むことが可能です。そして、その専門性・柔軟性・先駆性は行政サービスと協働することにより、市民ニーズに沿った大きな効果をもたらします。

市民のみなさんが「まちづくり」に参画し、役割を分担しながらお互いの強みを生かしていくことで、多様化する市民ニーズに対応でき、『市民が主役のまちづくり』が実現されていきます。

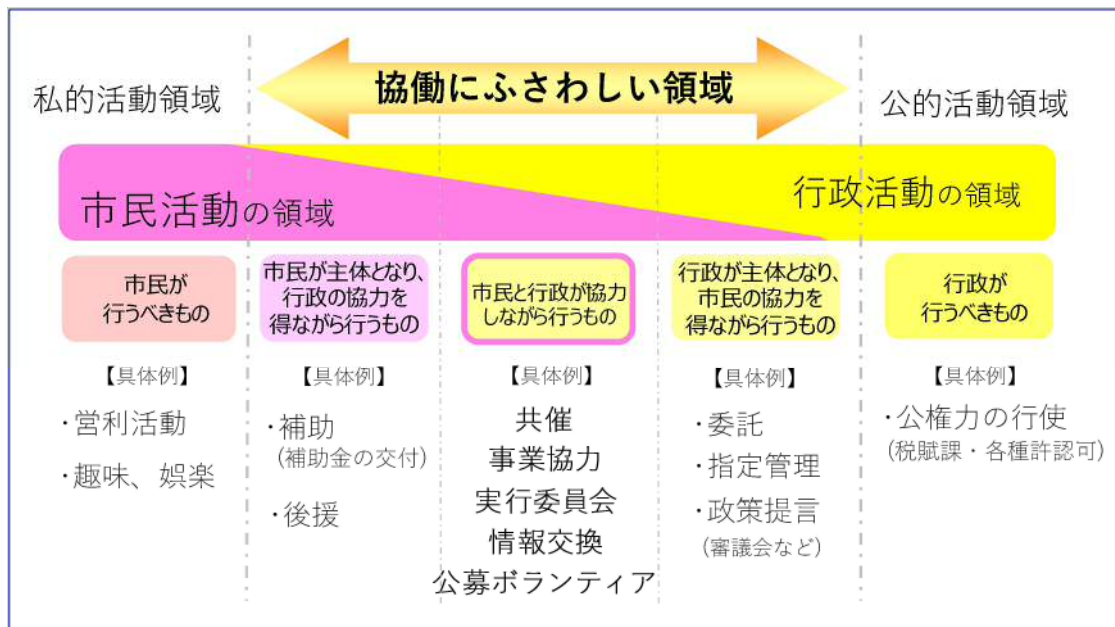


協働のかたち

協働には、どのようなかたちがあるの？

協働のかたちは一つではありません。相手とどのような関係で協働するかなどによって、かたちが変わります。

協働のかたちには、「共催」「補助」「委託」など、様々あります。



市が依頼したとおりに実施するだけの事業や、意見を聞くだけの会議などは協働事業といえません。

また、協働は市民と行政だけのものではありません。「NPOと自治会」、
「学校とNPO」など、協働のパートナーはいろいろあります。

よりよい協働では、次の3つの原則を満たしていることが大切です。

1. お互いに対する理解を深め、信頼関係をつくること
2. 目的・目標をお互いに共有すること
3. お互いを尊重し、対等な関係のもとで事業を進めること

協働の
メリット・
デメリット

メリット・デメリットを知りましょう！

協働することは、単独で活動するよりお互いにとってプラスになる成果を生みます。ただ、協働することがお互いにまたはどちらかにマイナスに働いてしまうケースもあるので注意が必要です。



- ・お互いの強みがお互いの弱みを補って、活動がスムーズに行える。
- ・自分たちの活動の理解者が増え、活動が広がっていく。 など

市民

ニーズにマッチした、きめ細かで柔軟な公共サービスが受けられるようになる

行政が持つ情報や信用力、広報力を活用できるため、活動がよりスムーズになる

市民活動団体

活動の場が公的な分野にも広がり、団体の使命（ミッション）をより効果的に実現できる

行政

多様化する市民ニーズに対応できる市民活動団体などが持つ柔軟性、スピード、専門性をサービスに反映させることができるようになる

たとえば、こんな
メリットがあるよ！



- ・単独でやるよりも調整に時間がかかる。
- ・相手に合わせることで、主体性が失われる可能性がある。 など

デメリットがあること
も忘れないでね！



ポイント

◎協働は目的ではなく、手段のひとつです。
デメリット>メリットの場合は、無理に協働をする必要はありません😊

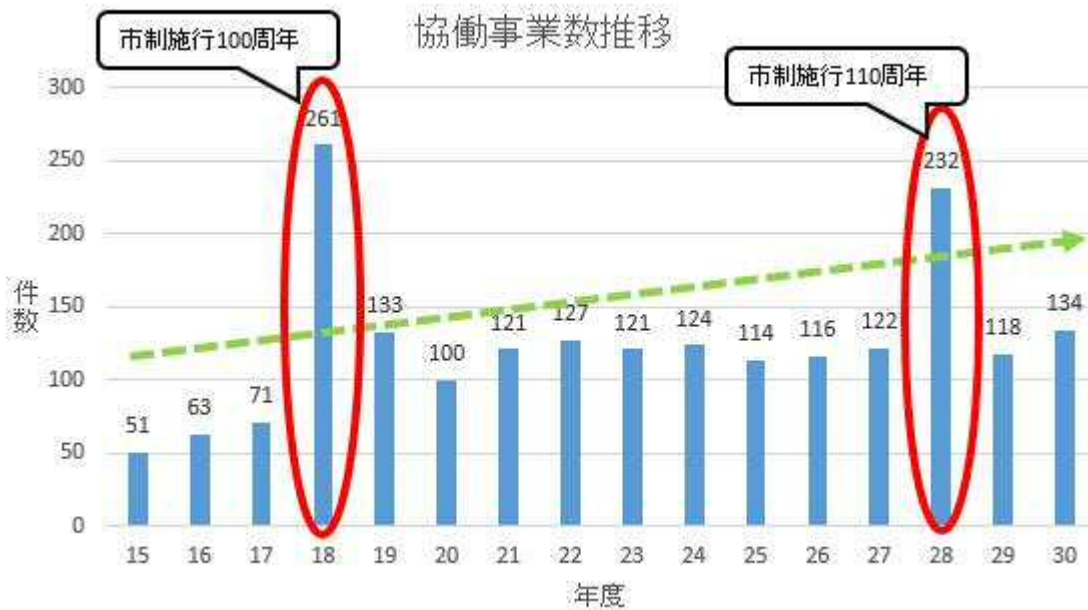


とよはしの協働

豊橋市の協働って、活発なのかな？



平成18年度の市制施行100周年の際に各地で行われた協働による記念事業などを機に、一気に協働事業が増えました。それから毎年100件を超える協働事業が行われています。



協働を
はじめる前に

自分たちのことを考えてみよう！

協働は相手との取組みです。協働を始める前にまず自分たちのことを一度確認してみてください。

その先にこそきっとよきパートナーが見つかるはずです。

① 自分たちは何がしたいのか

活動をする時にはきっと「あったらいいな」、「こうなったらいいな」、「こういうことがしたいな」という想いがあるはずです。

目的があれば、その目的を目印に進んでいくことができます。また、目的がはっきりしていることで、周りの人にも説明でき、理解を得やすくなります。

② 自分たちの「強み」は何なのか

皆さんには年齢、職業、住んでいる地域などによりいろいろな立場があります。でも、違いがあるからこそ、それぞれに「強み」を持っています。強みをうまく活用すれば、誰かの弱みを解決でき、お互いに補い合うことができます。

例えば・・・



高校生・大学生
若い感性や行動力



地域住民
地域課題の
発見力や地
域の連携



社会人
高い専門性や経験



公務員
さまざまな部署との
連携による協力体制

③ 自分たちができることは何か

活動は少人数で始めること、大勢がかかわること、住んでいる地域のことで、市内全域のことなど、大小様々です。

できることからまず始めてみましょう。始めたことを続けていきましょう。続けることで多くの出会いがあり、きっと達成したかった想いにつながります。

協働の
はじめ方

協働はどうやって始めるの？

協働のイメージができたならさっそく行動に移してみましょう。

協働を始めよう！

Step 1. 事業（活動）内容を検討しよう。

チェック

- ① 最終的な目標を決めるために、取り組もうとしている課題の状況や背景を調べて、今どうなっているかを確認することが大切です。
- ② 課題と目標が定まったら、どんなことをするかまとめてみましょう。企画書の形になれば最高です。
- ③ まとめたことからこれは協働したほうがいいのか、単独で取り組むべきかを考えてみましょう。

Step 2. 協働相手を見つけよう。

チェック

- ① 最近ではインターネットやSNSで多くの団体が情報を発信しています。まずは気軽に検索してみましょう。
- ② 様々に開催されているイベントや交流会などに参加することは、地域コミュニティの代表である自治会、市民活動団体などのNPO、市内外の企業や大学など、幅広い立場の人と関わることができるチャンスです。
- ③ 自分たちの取り組みや考え方を発信することで、相手からの働きかけの機会につながるようになります。

Step 3. 協働に向けた関係づくりをしよう。

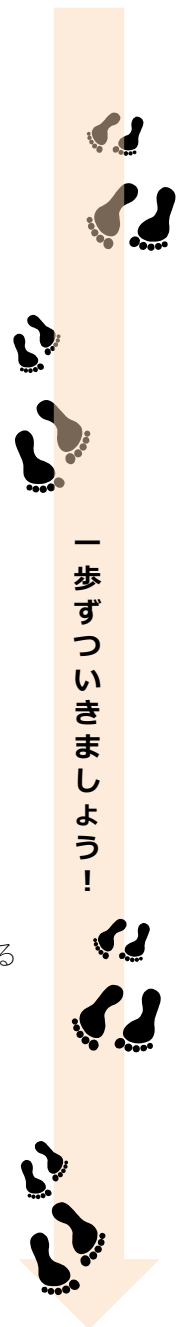
チェック

- ① ①お互いを知る、②相手のことを理解する、③目標が同じであることを確認する
お互いに信頼できる関係づくりがとても大切です。

Step 4. 協働相手に提案してみよう。

チェック

- ① 企画内容を相手に提案してみましょう。その際には協働の目標やメリットを丁寧に伝えることが大切です。
- ② それぞれの立場の理解、対等な関係、お互いへの理解に努めることが、協働したよりよい活動につながります。



**協働の
すすめ方**

いよいよ協働が動き出します。

信頼できる協働相手と一緒に活動を進めましょう。

協働を進めよう！**Step 1. 情報を発信しよう。****チェック**

- ① 積極的な広報が、協力者や支援者の獲得につながり、多くの人が共感してくれることも活動がスムーズに進むポイントです。広報にはホームページやSNS、チラシ、報道機関への情報提供などいろいろな方法があります。自分たちにあった方法を活用してみましょう。

Step 2. 進捗状況を管理しよう。**チェック**

- ① 自分たちだけ、相手側だけではなく、協力者も含めた協働相手とお互いに進捗状況や役割分担の状況を確認しましょう。

Step 3. 情報を共有しよう。**チェック**

- ① 協働相手とのコミュニケーションの充実を図って、情報共有に努めましょう。そのためには、定期的に打合せできるように決めておくことが大切です。
- ② 打合せではお互いに自由に意見を出し合える良い雰囲気の「場づくり」が大切です。

Step 4. トラブルへの対応。**チェック**

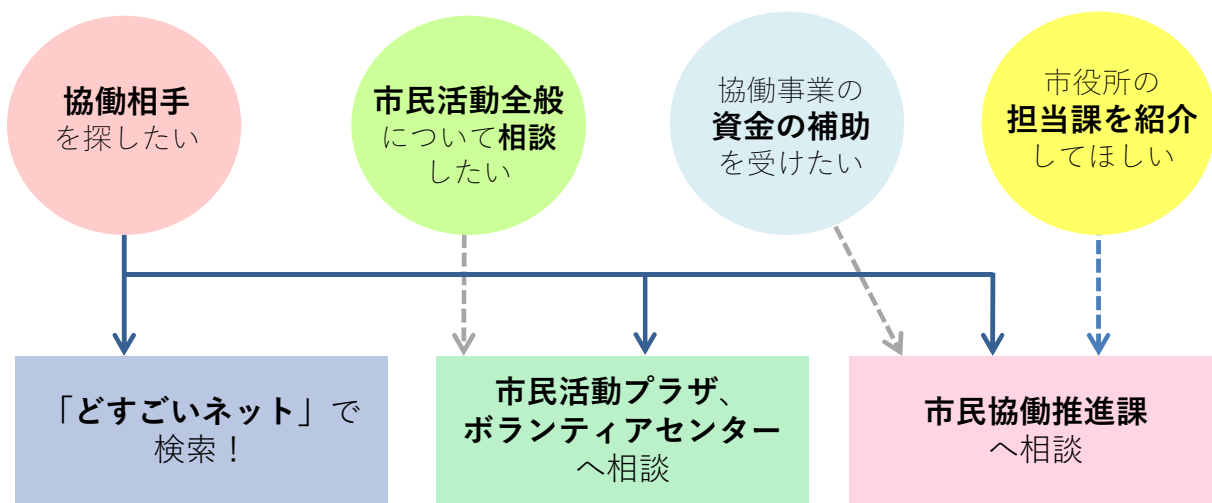
- ① 活動にはトラブルが起こってしまうこともしばしばあります。トラブルが起こった時に慌てず対応できるよう、協働相手と事前に想定するトラブルをリストアップしておくことで安心です。
- ② どんなに準備しても不足の事態は起こります。そうした時にも協働相手と密に連絡が取れる体制づくりと役割分担をしておくことが、素早く対応でき、事態の緩和につながります。

思いやりをもって進みましょう！

協働に
役立つ窓口

相談窓口や「どすごいネット」などの
お役立ちツールを活用してね！

「協働してみたい！！」と思ったら… ✨相談できる窓口があります。



市民活動プラザ

豊橋の市民活動の拠点施設として、市民活動全般に関する相談業務を行っています。

[豊橋市民センター内]
豊橋市松葉町二丁目63番地
☎0532-56-5160 (代) 0532-56-5161

ボランティアセンター

ボランティアに関する質問・相談業務などの支援を行っています。協働相手を探すときの相談先としても活用できます。

[総合福祉センター あいトピア内]
豊橋市前畑町115
☎0532-52-1111 (代) 0532-52-1112

どすごいネット

豊橋・豊川・蒲郡・新城・田原の5市が、協働で運営する市民活動の情報サイトです。東三河でどんな市民活動団体が活動しているかを調べることができます。

[URL]
<https://dosugoi-net.jp/>

市民協働推進課

市民協働推進補助金や市民活動総合補償制度など、市民活動の支援を行っています。

[豊橋市役所 西館4階]
豊橋市今橋町1
☎0532-52-2483 (代)

**ふりかえりの
着眼点**

事業を評価し、**課題や改善点の確認**をしましょう ✨
今後の**発展や改善**に繋がります ✨

様々な主体との協働の取組みを行った後は、よりよい協働事業を目指し、事業完了後にふりかえりを行うようにしましょう。

お互いの自己評価をするのはもちろんのこと、お互いに評価し合い、立場の違いから生まれる着眼点や意識の違いなどを明らかにすることで、今後の事業の発展や改善に繋がります。

ときには第三者から評価・アドバイスをもらうことで事業結果を客観的に判断することもできます。

以下の項目を着眼点にして協働したことについて振り返ってみてください。
また、ふりかえりには次ページにある「振り返りシート」を活用してみてください♪

※事業目的・目標の達成

- ・ 事業目的・目標の設定が適切であったか。また、事業目的・目標を達成できたか。
- ・ 経費に見合うサービスの提供（費用対効果）ができたか。
- ・ 受益者の満足は得られたか。

※役割分担の適切性

- ・ 目的共有・役割分担は適切に行えたか。
- ・ お互いの特性や立場を活かすことができたか。
- ・ 十分な協議を行い、お互いが対等なパートナーとして実施できたか。

※協働実施のメリット

- ・ 選択した協働の形態は適切であったか。
- ・ 単独で行うよりも、相乗効果や波及効果は得られたか。

※課題・改善点

- ・ 協働して明らかになった課題・問題点は何か。
- ・ 明らかになった課題・問題点に対し、今後どのように対応するのか。

協働
ふりかえり
シート
の使い方

事業実施の**流れを確認**しましょう

1 事業実施前

事業目的の共有や役割り分担などを行います。その際、事業実施後に「協働ふりかえりシート」を使用することを相互認識しておきましょう。

2 事業実施中

事業実施前に取り決めた役割り分担や進捗具合など定期的に確認を行います。必要に応じて当初の内容を変更することも検討しましょう。

3 事業実施後

「協働ふりかえりシート」を使用し、協働事業における双方の関係や成果及び見直しに重点をおいて確認し合しましょう。

今後の事業で知識や経験を活かしていこう！

事業を実施したことで得られる結果や生み出された知識・経験、そして事業に注がれたエネルギーは、協働した関係者や市民活動団体の意識の向上つながります。ただし、協働事業の計画・実施・報告が、協働のゴールではありません。今後の更なる取組みのために、事業実施の経過と結果をしっかりと振り返り、今後どう発展させるのか、事業を継続すべきか、事業の実施形態を見直すべきか、協働事業としての終了をどう見定めるのかなど、得られた知識や経験を最大限に活かしていくことが重要です。

協働ふりかえりシート

| | |
|-------|--|
| 協働事業名 | |
| 団体名 | |

| 段階 | 評価項目 | 評価のポイント |
|-------|-----------|--|
| 企画段階 | 目的・目標の共有 | 事業の目的・目標を明らかにし、共通認識を持つことができたか 5 4 3 2 1 × |
| | 十分な話し合い | 十分な調整や協議をすることができたか 5 4 3 2 1 × |
| | 相互理解 | 相手の立場や、組織の特性の違いを理解し、尊重して進めることができたか 5 4 3 2 1 × |
| | 意見の反映 | お互いの意見を反映させた企画づくりができたか 5 4 3 2 1 × |
| 実施段階 | 対等の関係 | 対等な立場で事業を実施することができたか 5 4 3 2 1 × |
| | 特性の発揮 | お互いに力を発揮しながら実施できたか 5 4 3 2 1 × |
| | 役割分担 | 役割分担は適正であったか(どちらかに依存しすぎることはなかったか) 5 4 3 2 1 × |
| | 情報の共有 | 進捗状況や事業に関する情報を共有できたか 5 4 3 2 1 × |
| 事業完了後 | 目的・目標の実現 | 事業の目的・目標は達成されたか 5 4 3 2 1 × |
| | 受益者の満足 | 市民(受益者)のニーズを満たすことができたか 5 4 3 2 1 × |
| | 信頼関係の構築 | 協働によってお互いについての理解が深まり、信頼関係が築けたか 5 4 3 2 1 × |
| | 手法の妥当性 | 協働という手法は適切だったか(単独で実施する以上の成果をあげることができたか) 5 4 3 2 1 × |
| | 今後の協働の広がり | 他の事業も含めて、今後も協働で取り組みたいと思うか 5 4 3 2 1 × |
| 成果 | | |
| 課題 | | |
| 改善提案 | | |

基準

| | |
|---|---|
| 「はい」(十分あてはまる) | 5 |
| どちらかといえば「はい」(概ねあてはまる) | 4 |
| ふつう(ある程度あてはまる) | 3 |
| どちらかといえば「いいえ」(あまりあてはまらない) | 2 |
| 「いいえ」(全くあてはまらない) | 1 |
| 今回の事業の性質上、該当しない この項目を選択する場合は、協働相手と確認して双方×とするのが良いかもしれません。 | × |

協働事業が完了したら、この基準を参考に、該当する数字に○をつけてね♪



つながる
協働事例

とよはしの協働事例を見てみよう

豊橋市では、お互いにメリットが生まれる協働が行われています。参考になる事例をのぞいてみましょう。皆さんにとっての協働の取り組みへのヒントがみつかるかもしれません。

紹介する協働事例



岩屋緑地の維持管理

(公園緑地課×岩屋緑地に親しむ会)



災害時のボランティアによる被災者支援体制づくり

(市民協働推進課×豊橋防災ボランティアコーディネーターの会)



自然史博物館での教育啓発活動

(自然史博物館×豊橋市自然史博物館ボランティア)



天伯団地の支え合い活動

(自治会×天伯団地支え合い活動ひだまりの会)



行政
×
NPO

岩屋緑地の維持管理

〈平成12年度〜〉



市の里山管理ボランティア養成講座修了者が「岩屋緑地に親しむ会」を立ち上げ、市と協働で岩屋緑地の草刈りや間伐など維持管理作業を行うとともに、学校の校外学習などの受け入れや環境学習イベントの実施など、岩屋緑地を市民の憩いの場、子どもたちの学習の場として管理しています。

公園緑地課

岩屋緑地に
親しむ会



岩屋緑地が里山として適正に管理され、市民に里山の大切さを知ってもらえる公園にしたい

想い

岩屋緑地を中心として、多様性のある森づくり・環境づくりを行うとともに、環境教育の場を提供したい

緑地の維持管理に関する費用負担

強み

こまめな草刈りや危険な枯れ枝の発見など、地元住民だからこそできる細やかな維持管理

必要な施設の整備や機械の貸与などボランティア活動に対する支援

役割

草刈りや間伐などの維持管理作業、校外学習の受け入れ、きのこの菌打ち会など企画イベント実施

豊橋市内には約400の公園があり、すみずみまで手入れを行うことは行政だけでは難しかったが、協働により適正に管理されるようになり、市民が利用しやすくなった

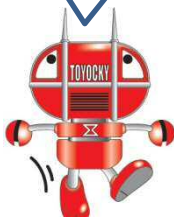
成果

市民から暗いという声もあった岩屋緑地が、明るく歩きやすい里山となり、近隣の小中学校の校外学習の受け入れて、里山の大切さなどの環境教育ができた



台風で折れた枝や倒木をチップ化して遊歩道に撒く

行政の手がまわらない、細かい所まで維持管理ができるように！



案内看板を製作し、設置



行政
×
NPO

災害時のボランティアによる 被災者支援体制づくり

〈平成20年度〜〉



大規模災害発生時に、協働で災害ボランティアセンターを開設して、全国からのボランティアを受け入れて、支援が必要な被災者のもとに派遣します。また、平常時にも、ボランティアをコーディネートする災害ボランティアコーディネーター（災害VC）の養成講座やレベルアップ講座等を協働で実施しています。

市民協働推進課
(豊橋市社会福祉協議会)

**豊橋防災ボランティア
コーディネーターの会**



災害時にボランティアをスムーズに受け入れて、被災者の一日も早い生活復旧を支援したい

想い

自分たちの知識・経験を生かして災害救援活動をしたい

災害時における、行政ならではの情報収集力や広報力など

強み

視察研修や被災地での災害ボランティア参加など、自主的な活動により知識と経験が豊富

【災害時】センター開設に必要な場所や資機材の確保および費用負担と、情報収集や広報活動
【平常時】養成講座等の開催

役割

【災害時】センターでボランティアのコーディネート
【平常時】市と一緒に養成講座等の内容検討、講座の講師

災害時のボランティアによる被災者支援体制が強化でき、養成講座等の充実により新たな災害VCの育成ができた

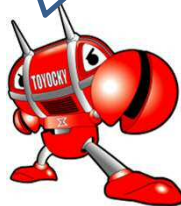
成果

平常時からの協働による取組みで市との連携体制が強化でき、災害時にもスムーズに知識と経験を生かした被災者支援活動ができる



総合防災訓練での
ボランティア受入れ訓練

普段からの協働が、災害時のスムーズな被災者支援にもつながっていくんだね！



災害VC養成講座



行政
×
NPO

自然史博物館での 教育啓発活動〈平成8年度〜〉



豊橋市自然史博物館ボランティアは資料整理や館内のガイドツアーを行っています。

自然史博物館

豊橋市自然史博物館
ボランティア



魅力ある博物館を目指したい

想い

専門知識を活かしたい。

安定的に資料の展示をすることが
できる。

強み

資料に関する知識や経験がある。

展示の企画や、施設運営を行う。

役割

来館者にガイドツアーを行ったり、
収集したものの整理などを行う。

豊橋市自然史博物館ボランティアが
持つ専門性を発揮してもらうことで、
きめ細やかな展示や施設運営がされ
る。

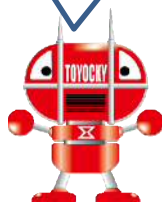
成果

専門知識を活かすことができ、また、
同じ想いを持った人々と交流を深め
ることができる。



ガイドツアー

専門性を
発揮できることが
最大のメリット！



資料整理



地域
×
NPO

天伯団地の支え合い活動

〈平成28年度〜〉



天伯団地支え合い活動ひだまりの会は多世代が集える「居場所」を創造することで、住民が安心して暮らせるまちづくりを進め、また高齢化・独居老人の増加に伴い、住民の困り事を支える「お互い様活動」を推進しています。

自治会

天伯団地支え合い活動
ひだまりの会

地域住民の高齢化による問題を解決したい。

想い

誰でも安心して暮らせる地域づくりを行いたい

自治会の公民館を持っている。

強み

地域のために何かをしたいという強い想いを持つ人同士のつながりや居場所づくりやお互いさま活動に関するノウハウがある。

自治会の公民館を会場として無料で提供する。

役割

公民館でさまざまな企画や活動などを行う。

高齢者が暮らしやすい地域にすることができた。

成果

地域住民のつながりが強くなることや、参加する高齢者の健康づくりにつながった。



手芸教室

行政主導じゃなく、
地域とNPOが自然に
協働している事例
だね！



災害時のための安全旗づくり



協働するきっかけは、さまざま。

市・地域・NPO・企業の4者による協働事例を紹介します。

ポイントは、要望を受けた市が、それまで通りに事務的に処理するのではなく、NPOの力を生かしたもっと良い解決方法がないかと考え、協働を提案したことです。

協働のきっかけは、このように身近に転がっているのかもしれません。



(平成20年)

岩屋住宅ペインティングプロジェクト

ブラジルなどの外国籍住民が全世帯の3分の1を占める市営岩屋住宅で、住宅の壁に落書きが発生！ これを見た自治会長は、市に壁面の塗り直しを要望します。

市では当初、他の市営住宅での対応と同様に、白く塗り直す予定でした。そんな中、CSN豊橋と岩屋住宅に住む外国籍の子どもたちによるゴミ箱の管理活動でポイ捨てがなくなったことがテレビで放送され、それを市の担当者がたまたま見ていたことから、ゴミ箱に続く第2弾の取組みとしてCSN豊橋に協力してもらってはどうかと自治会に提案します。



相談を受けたCSN豊橋は、「壁を白く塗り直してもまた落書きされてしまうかも」と、子どもたちと一緒に壁画を描くことを提案。市はこの提案を受け、関係部署との調整や市内の塗装業者にボランティア協力を依頼するなど、プロジェクト体制を整え、5日間かけて壁画制作を行いました。

ペインティング作業では住宅の日本人の住民と外国籍の子どもたちが参加して一緒にイラストを描くなど、協働することによって、落書き対策が多文化交流のイベントへと発展しました。



協働の成果

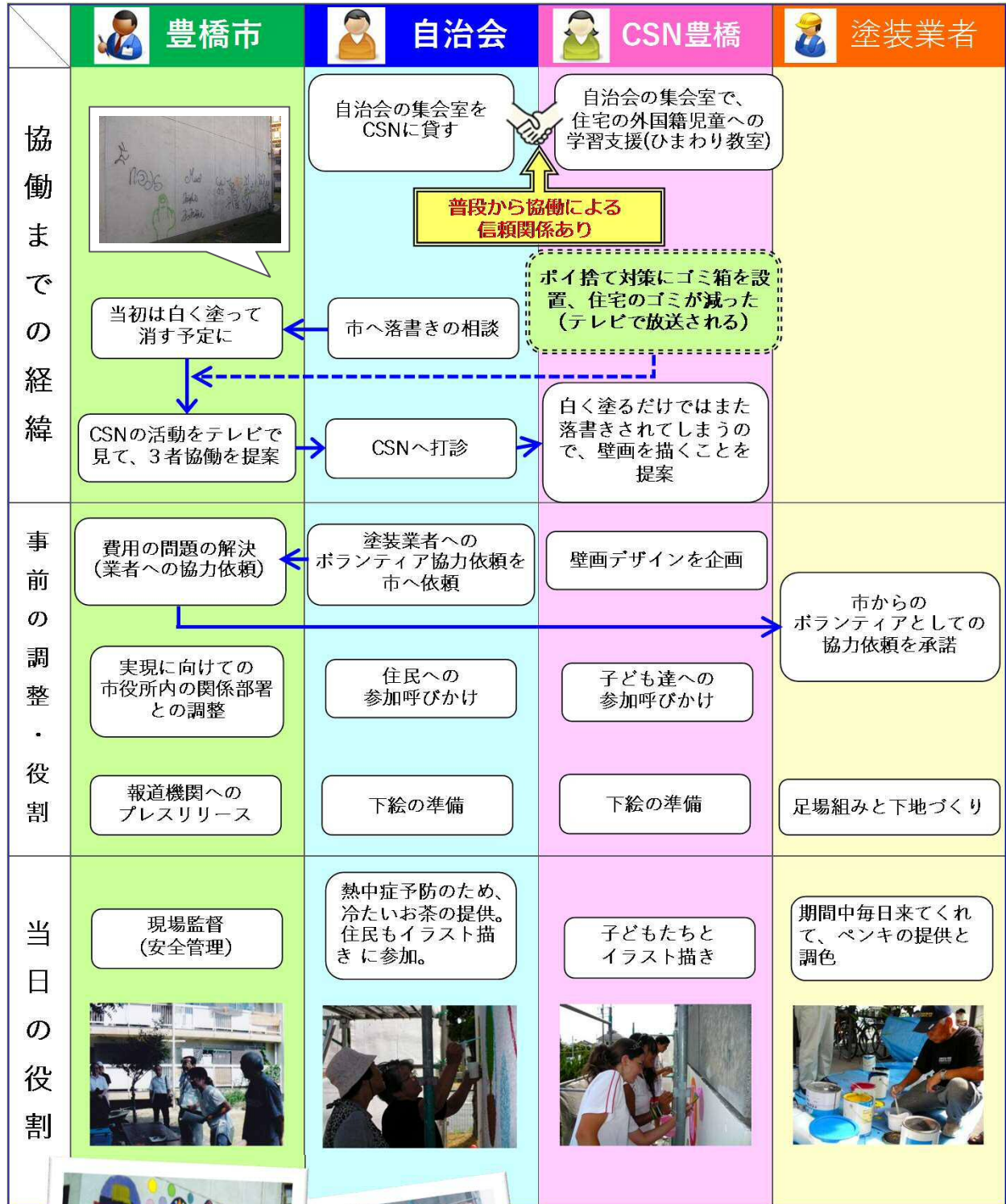


- 😊 ペインティングの作業が、住宅の住民と外国籍の子どもたちとの、コミュニケーションの場となった
(→白く塗って消すだけではできなかった、協働したからこそ結果！)
- 😊 時間経過しているが、その後新たな落書きはされていない

協働するまでの流れと、4者それぞれの役割は、次ページの図を参照してね！



協働までの流れと、それぞれの役割



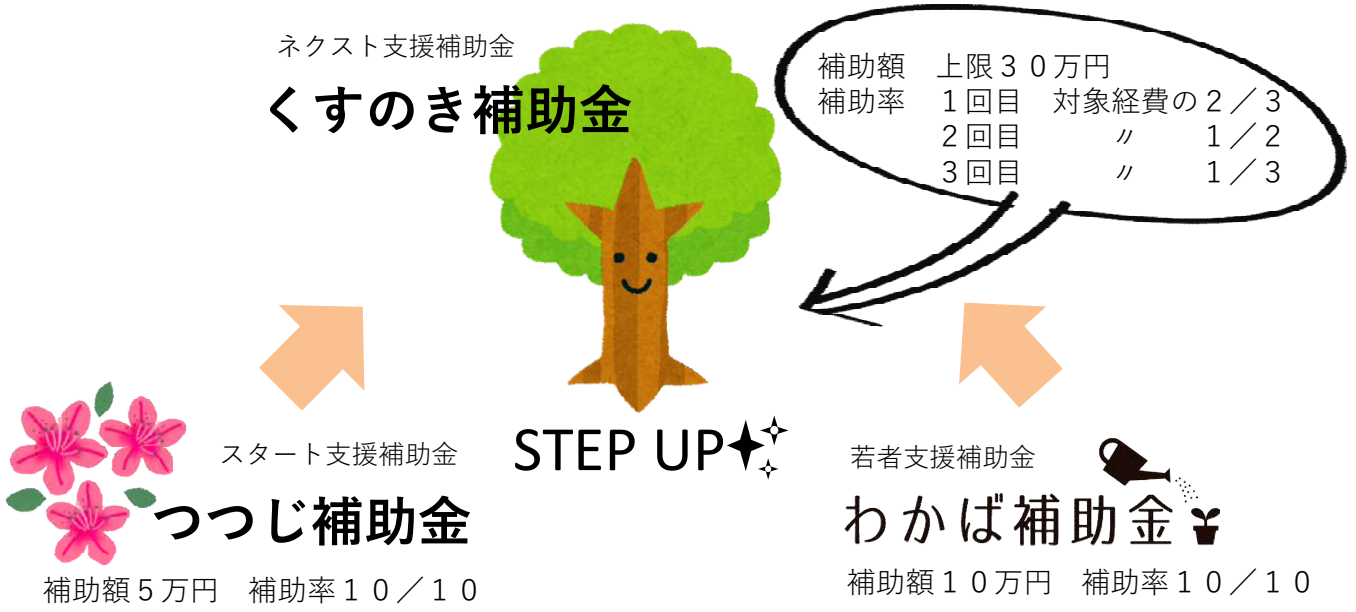
完成!





市民協働推進補助金

市民協働推進補助金は、市民協働によるまちづくりを推進することを目的に、非営利で、不特定多数の人のためになる自主的な活動「公益的社会貢献活動」を行う団体の活動を支援するための補助金です。団体の活動状況に合わせてご応募ください。

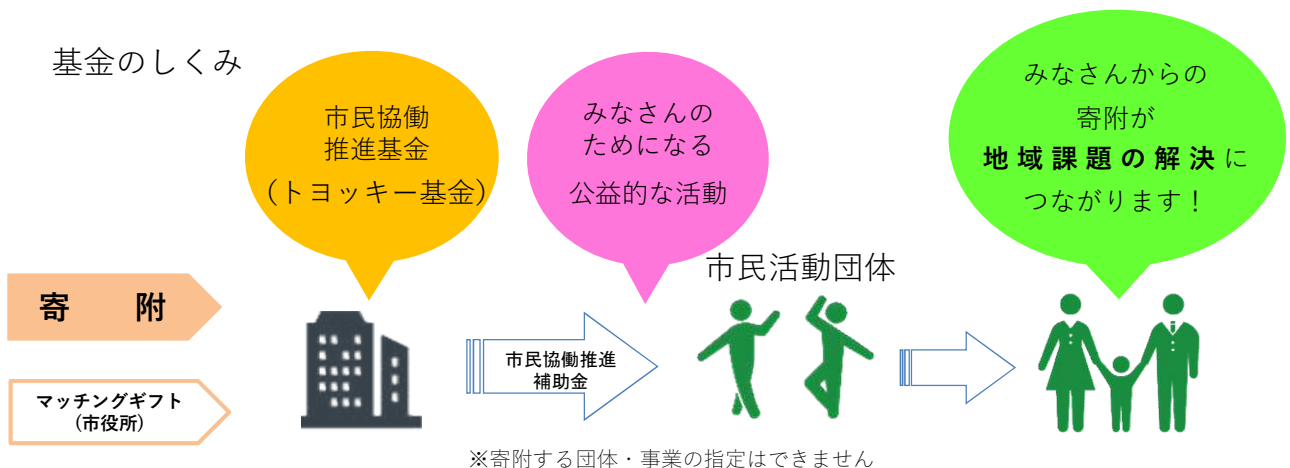


市民協働推進基金（トヨッキー基金）



「市民協働推進補助金」は、みなさんの寄附などから支えられる「豊橋市市民協働推進基金（トヨッキー基金）」が財源となっています。

基金のしくみ



みなさんからの寄附と同額を市からも積み立てるので、寄附の効果は2倍になります！



SHIMIN KYOU DOU

「市民協働」とは、
市民と市が対等な立場で、
お互いの長所を生かして協力しながら、
一緒に取り組むことだよ♪



©Toyohashi city,
toystack

令和2年3月発行

豊橋市役所

市民協創部 市民協働推進課

☎0532-51-2483 0532-56-5128

✉ shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp

